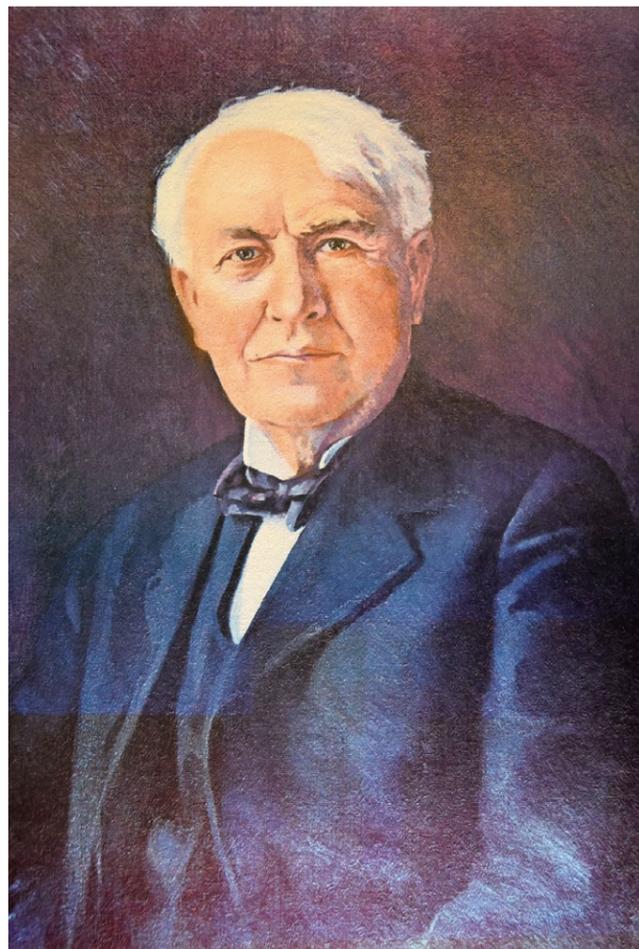


八幡ゆかりの人物

Persons in relation with Yawata



トーマス・アルバ・エジソン 京都男山エジソン協会提供

トーマス・アルバ・エジソン Thomas Alva Edison

世界の発明王として知られるエジソン。彼の発明品の一つである白熱電球には、八幡の竹が使われています。八幡の竹を炭化したフィラメントによってつくられた白熱電球は、世界に画期的な光をもたらしました。

「エジソン記念碑」は、エジソンの功績を後世に伝えるため、1934年に男山展望台に建立されました（現在は石清水八幡宮の境内に移設）。

この縁で、八幡市はエジソン生誕の地である米国マイラン村と友好都市協定を結んでいます。



エジソン記念碑

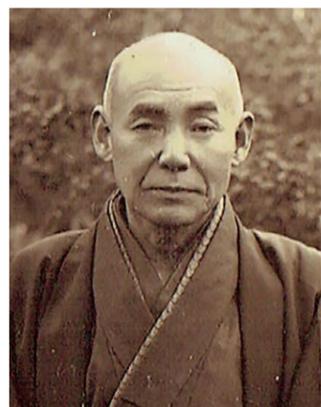


エジソン電球

二宮 忠八 Chuhachi Ninomiya

ライト兄弟よりも先に飛行原理を発見し、飛行機の開発に尽力した航空界のパイオニア的人物。日本人初のゴム動力によるカラス型飛行器を作成し飛行に成功したり、人が乗れる玉虫型飛行器を考案したりと、飛行機の実用化を試みていました。

また、空の安全を願って自宅地内に、日本で唯一の航空安全の神社である飛行神社を創設しました。



二宮忠八 飛行神社提供



カラス型飛行器模型



飛行神社

松花堂 昭乗 Shokado Shoji

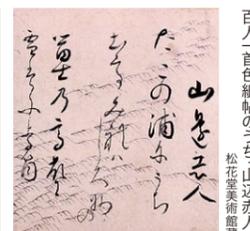
石清水八幡宮の社僧で、著名な文人たちと集い、書・画・茶の湯・和歌などを介して、文化の発信基地として高い地位を占めていました。

多くの作品を残しており、特に書に関しては瀧本流・松花堂流という書風を確立し、寛永の三筆と称されています。また、花鳥・山水画、人物画などでも高い評価を得ています。

昭乗の好んだ四つ切箱は松花堂弁当として今も世に広まっています。



「松花堂昭乗自画像写」(部分) 松花堂美術館蔵



百人一首色紙帖のうち山辺赤人 松花堂美術館蔵

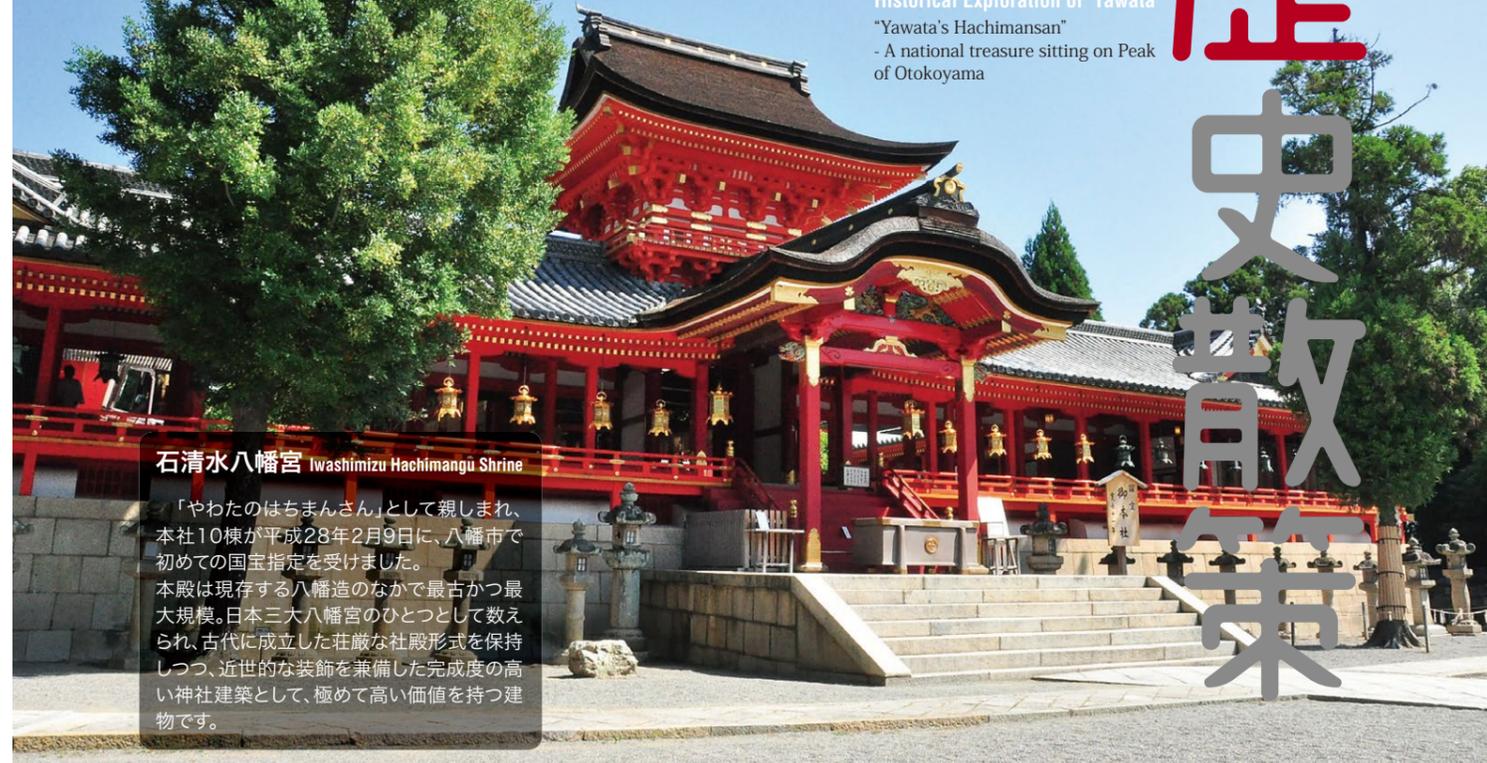


松花堂弁当

男山の峯に鎮座する国宝、 やわたのはちまんさん。

八幡の歴史散策

Historical Exploration of Yawata
"Yawata's Hachimansan"
- A national treasure sitting on Peak of Otokoyama



石清水八幡宮 Iwashimizu Hachimangu Shrine

「やわたのはちまんさん」として親しまれ、本社10棟が平成28年2月9日に、八幡市で初めての国宝指定を受けました。

本殿は現存する八幡造のなかで最古かつ最大規模。日本三大八幡宮のひとつとして数えられ、古代に成立した荘厳な社殿形式を保持しつつ、近世的な装飾を兼ね備えた完成度の高い神社建築として、極めて高い価値を持つ建物です。

Many historical heritage is inherited in Yawata city. Since its inception in 860, Iwashimizu Hachimangu Shrine has been revered by many people including court nobles and samurais. The cultural properties, such as wooden seated statue of Amida Nyorai carved in the early Kamakura period, and Shokado built by Shokado Shoji in early Edo period, stand quietly.

Thomas Alva Edison who used bamboo from Yawata for incandescent light bulb, Shokado Shoji, one of the three famous ancient calligraphers of Kanei as well as a priest of letters of Edo period, and Chuhachi Ninomiya who tried to put an airplane into practical use following his dream to the sky - they all are famous in relationship with Yawata.

You can sense the cultures cultivated in each period and try to trace the historical story leading up to the present.

八幡市には多くの歴史遺産が受け継がれています。平安時代初めの貞観2年(860年)の創建以来、公家や武家をはじめとして、広く崇敬を集めた石清水八幡宮、鎌倉時代初期に造られた木造阿弥陀如来坐像、江戸時代初期に松花堂昭乗によって造られた松花堂など数々の文化財が静かにたたずんでいます。

また、八幡産の竹を白熱電球に使ったトーマス・アルバ・エジソン、江戸時代の文人僧で寛永の三筆と称される松花堂昭乗、空への夢を追って飛行機の実用化を試みた二宮忠八は八幡と縁のある人物として有名です。

それぞれの時代に育まれた文化を感じ、今に至る歴史物語をひもといってみてください。



草庵「松花堂」 Soan "Shokado"

石清水八幡宮の社僧であり、文化人でもあった松花堂昭乗が、晩年に男山山腹の泉坊の一角に建てた庵。現在は松花堂庭園内に移築。京都府指定文化財。庭園は国指定史跡名勝指定。



正法寺 Shoboji Temple

徳川家康の側室であったお亀の方の菩提寺。建久2年(1191)に建立。天文15年(1546)には、後奈良天皇の勅願寺となりました。本堂・大方丈・唐門は国指定重要文化財。



伊佐家住宅 Isake's House

江戸中期の南山城地方における代表的な庄屋屋敷のひとつ。主屋は享保19年(1734)に建築され、厚さ約1メートルもある茅葺の屋根は必見。国指定重要文化財。



木造阿弥陀如来坐像

Wooden seated statue of Amida Nyorai
鎌倉時代初期に造られ、もとは八角堂の本尊として石清水八幡宮の山中にあった仏像。中品中生の説法印を結び、後背は13体の化仏を配した4.8メートルもある大作です。現在は正法寺の宝物館に安置されています。国指定重要文化財。

歴史散策